

日本アジア学 地域文化研究特別講義Ⅱ 「アジアでがんを生き延びる」は
4月14日月曜日 スタートです。

夏学期は 4限 (14時50分から16時20分)
本郷医学部教育新棟2階第1セミナー室です。

The Asia Cancer

— Where Science and History meet

がんと向き合うことは、遺伝的素因、生活習慣など、
ひとのカラダに刻まれた歴史に出逢うことでもあります。
家族・地域・国家—逃れられない繋がりの中かで
科学という人類の叡智をもって
アジアのがんを生き延びていくために、
いまどんな眼差しをもてばよいのか

アジアのがんを通して、あなたはどんな今日的課題をみつめるのか、家族・地域・国家、
そして大きな世界観の中かでこの問題をとらえていきたいとおもいます。 講義最終日には、
ノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈先生にもおいでいただきます。
問われるべきことは何なのか、受講者はそれぞれの専門領域にひきよせて、テーマごとに
深掘りされた場所までおりて、自らの問いを立てて各回の講師と対話することによって
自らの研究の相対化の眼差しも掴んでいくことに繋がっていくはずです。

月曜日 4限

14:50 ~ 14:20

教室 東京大学医学部教育研究棟 第1セミナー室 (2階)

日本アジア学 夏学期 講義日程

4月14日 全体ガイダンス アジアのがんとは何か？
赤座英之 東京大学先端科学技術研究センター特任教授

4月28日 歴史の中でがんをみつめる
真鍋祐子 東京大学情報学環教授

5月12日 がん登録から読み解くアジアのがん
田中英夫 地域がん登録全国協議会理事長

- 5月19日 地域コミュニティの在りかたとアジアのがん
牧野篤 東京大学大学院教育学研究科 教授
- 5月26日 家族とがん
波平恵美子 お茶の水女子大学名誉教授
- 6月9日 高齢社会を生きる
辻哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構教授
- 6月16日 在宅医療とがんーアジアの未来医療の在りかたを探る
堀江重郎 順天堂大学医学部教授
- 6月23日 アジアにおける難問とは何か（大阪大学交流授業）
三宅淳 大阪大学基礎工学研究科機能創成専攻教授
- 6月30日 アジア太平洋の今を読み解く
藤崎一郎 前駐米大使 上智大学特別招聘教授
- 7月7日 アジアにおける医薬品産業の国際連携
土屋裕 エーザイ株式会社代表執行役副社長 日本製薬工業協会 国際委員会委員長
- 7月14日 サイエンスが切り拓くアジアの未来
江崎玲於奈 ノーベル物理学賞受賞者 日本学士院会員
- 7月28日 総合討論
逃れられないものと向き合う
アジアのがんを通して、あなたは何を見つめるのか？

冬学期に 本授業と連動した授業を開講予定

ITASIA128

Surviving Cancer in Asia: Cross-boundary Cancer Studies